



しおかぜ通信

学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R7,6,6 No.8

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



色とりどりの花が子供たちを迎えています

正門付近の花壇やプランターに植えられた色とりどりの花が、子供たちを迎えてます。

この花が、子供たちの一日のスタートを気持ちのよいものにすることを願っています。



調理実習の講師として地域の方々に来ていただきました

令和7年5月29日(木)、5年生が家庭科の学習の一環で調理実習(ゆでいも・小松菜のおひたしづくり)を行いました。その際、講師として地域の方4名においていただき、調理のポイントなどを教えていただきました。

子供たちは、講師の方のお話をよく聞きながら楽しそうに調理をしていました。講師の方には、ご多用の中にわざわざおいでいただいたことに心より感謝いたします。



児童集会(仲間づくり委員会の発表)がありました

令和7年6月3日(火)、児童集会がありました。全児童で今月の歌を歌ったり、詩を音読したりした後、「仲間づくり委員会」から、仲間づくりで大切にしたいこととして、次の3つが約束として示されました。

「あたたかい言葉を使おう」「困っている人がいたら助けよう」「自分が正しいと思う行動をしよう」

この3つの約束それぞれで、どんな言葉かけや行動をすべきか投げかけられた子供たちは、考えて発表していました。その後、「きらりカード」の取組の紹介がありました。

後半は、縦割班の子供同士の親睦を深めるためのレクレーションがありました。この活動は、縦割班で行う清掃活動などに効果的に働くものと思います。仲間づくり委員会が提案した取組や縦割班活動に、子供たち一人一人が積極的かつ主体的に取り組むことで、いじめのない楽しい活気あふれる学校・学級が実現するものと思います。



子供のコミュニケーション能力を育てる【その③】

「あいづちをうつ(リアクションをする)」

今回は「あいづちをうつ(リアクションをする)ことの大切さについてお伝えします。

「話し上手は聞き上手」ということわざがあるように、相手の話を「うなづきながら聞く」や「なるほどね、そしてどうしたの」、「え、なんだね」などとあいづちをうちながら(リアクションしながら)聞くことで、相手は話すことに心地よさを感じるようになり、引いては会話が弾むようになります。そして、これがコミュニケーション能力を高めます。

ご家庭でも、お子様の話を聞くときには、「そうなの、それでどうしたの」や「それは大変だったね、よく頑張ったね」などとあいづちをうちながら聞いてみてください。子供は自然と相手の話にあいづちをうつようになります。家族や友達との会話が弾むようになると思います。